

## 南仏事件情報（2016年3月）

### （1）殺人

- 病院の駐車場で男性が撃たれて死亡（10日、エロー県）

10日朝、モンペリエ市で、病院の駐車場で男性が銃で撃たれ死亡し、1名が負傷した。現場で銃を所持していた男性が逮捕された。入院している父親を訪ねてきた兄弟間の争いだとみられている。
- 25歳男性が殺害される（14日、BdR県）

14日21時ごろ、マルセイユ市14区の路上で、25歳の男性がカラシニコフで銃撃されて死亡した。犯人はバイクで現れ、歩道にいた男性に銃撃を加えた。5発が胸に命中した。カラシニコフによる死者は、今年に入ってわかっているだけでも5人にのぼる。
- 首を切られ、高速道路上に放置（15日、BdR県）

15日午前4時30分ごろ、マルセイユ市15区の高速道路（A55）上で、マルティীগ市の50歳代の男性が、首を切られて死亡しているのが発見された。遺体には、首に大きな傷が2つと頭部にも複数の傷があり、いずれもナイフ等によるものであることが判明した。発見からわずか数時間後、マルティীগ市に住む男女2人が逮捕された。調べによると、マルセイユ市でのパーティーに行く途中での友人間のトラブルに起因する殺人だとのこと。
- 新たな殺人（17日、BdR県）

17日夜、マルセイユ市北部で、35歳の男性が銃撃を受けて死亡した。男性は麻薬所持の罪での服役を終えて出所したばかりだった。麻薬取引に絡む事件だと見られている。
- 5年間で110人が報復の犠牲に（21日、BdR県）

過去5年間、マルセイユ市及び同近郊で発生した報復（Règlements de comptes）の犠牲者は、110人に及んでいる。そのうちマルセイユ市では78人、ペンヌ・ミラボー市で5人、セプテム市で4人、エクサン・プロヴァンス市及びオーバーニュ市などで3人ずつが死亡している。

### （2）その他特異事件等

● 乱闘で4人怪我（5日、B d R県）

5日、マルセイユ市13区で、15～16歳の少年達が乱闘騒ぎを起こし、ナイフにより4人が怪我をした。数日来、2つの少年グループがフェイスブック上で激しく罵り合い、その結果決闘をすることになったとのこと。

● ジョギング中の女性を襲った少年が逮捕（25日、ガール県）

25日、ヴェルジェーズ市で、ジョギング中の女性を襲って強姦した容疑で、15歳の少年が逮捕された。少年は、3月1日の午後、競技場の近くをジョギングしていた女性の後ろから近づき、瓶で頭を殴りつけてから犯行に及んだ。逮捕の決め手となったのは、DNA鑑定だった。

● 少年が行方不明となって1ヶ月（25日、ガール県）

ニーム近郊のクロランサック市で、男子高校生が行方不明になってから1ヶ月が経とうとしている。少年は、大通りにあるタバコ店の従業員と挨拶を交わしたのを最期に、行方がわからなくなっている。治安当局や付近住民による捜索にもかかわらず、未だ発見されていない。少年が過激化したという痕跡は残っていない。この街では、ちょうど1年前、同じく16歳の少年が行方不明になっていることもあり、住民は不安をつのらせている。また、現場は、ジョギング中の女性が少年に襲われた事件（上記）の現場からわずか数キロしか離れていないが、この事件との関わりは不明。

● ショッピングモール駐車場でのカージャック（25日、B d R県）

25日22時ごろ、カブリエ市にあるショッピングモール（Plan de Camagne）で、駐車場に入ってきた車を、武装した3人組の男が脅して車を奪い取って逃走した。被害者は若い男女で、大きな怪我はなかった。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報をもとにまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。